



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成23年 月 日

大分県知事 広瀬勝貞 殿

提出者

住所 竹田市大字九重野854

氏名 佐藤龍彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0974-67-2028

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	緩水養豚場
事業場の所在地	竹田市大字九重野中ツル1172
計画期間	平成23年4月1日～平成24年8月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	(牛 頭) (豚 742頭) (鶏 羽)
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿の自己で堆肥化 ②肉生利用農家へ全て委託し堆肥として再資源化 家畜の死体 ①処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表者(産業廃棄物統括責任者)

産業廃棄物処理方針の決定

産業廃棄物処理に関する各種事項の決定承認

産業廃棄物処理計画の作成

委託契約の締結事務

産業廃棄物管理票の交付・管理

行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(22 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
①現状	排出量	1,080 t	/ t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	1,080 t	t
	堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t
	堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t
該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	全処理委託量	牧場 堆肥 200 t	1.180 kg t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	200	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> 家畜ふん尿は再生利用業者へ全て処理委託し堆肥化している 動物の死体は化製場へ委託し処理している 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家庭ふん尿	動物の死体
	全処理委託量	1,100 t	1.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・処理を委託する場合は今後を再生利用業者へ委託する ・動物の死体は化製場に委託処理している		
※事務処理欄			